

整形外科疾患（大腿骨頸部骨折）の リハビリテーションの流れ

約
2
週
間

1. 受傷・入院

加齢に伴い骨粗鬆症になると、若い時と比べて骨が脆弱になってしまいます。高齢者は転倒によって様々な部位に骨折を生じますが、特に大腿骨頸部骨折がその大半を占めます。骨折により歩行能力が損なわれることで日常生活に支障が出てしまい、手術的治療が必要になります。

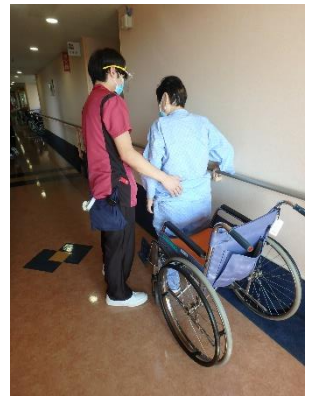
術後翌日より主治医からリハビリテーション依頼が出され、リハビリテーションを開始します。

2. リハビリ開始

主治医の指示によりリハビリを開始します。リハビリ評価を行い、リハビリの進め方を決めます。患者さまが寝た切りにならないように歩行能力の回復、日常生活に戻れる機能を目指して、毎日のリハビリによる機能回復を図ります。

主なリハビリ内容

- ・ ベッド上の下肢運動 ・ 車椅子への移乗
- ・ 立位訓練、手術した下肢への荷重訓練
- ・ 歩行訓練（平行棒内歩行、歩行器歩行、T字杖歩行など）



3. リハビリ終了

主治医、病棟看護師、リハビリスタッフ、MSW、患者さま・ご家族の全員で今後の方向性を話し合い、リハビリテーション専門の回復期病院への転院を調整します。入院約10日～2週間ほどで回復期リハビリテーション病院から連絡があり、転院の準備をします。

4. 回復期リハビリテーション病院へ転院

近隣の回復期リハビリテーション病院へ転院していただき、自宅退院に向けてリハビリテーションを継続していただきます。

回
復
期
病
院